

自主検査（インサート吊り+直天・野縁H-25FL）

工事名	
施工期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日

ゼネコン		検査日	令和 年 月 日	検査員				
施工会社								
材料メーカー	(株)佐藤型鋼製作所							
工程	管理項目	測定方法	測定頻度	管理許容値	異常時の処置	検査確認チェック	検査実施年月日	備考欄
材料受入れ	① 鉛直固定E4分とデッキプレート（コンクリートスラブ）の間にすき間が無い。鉛直固定E4分は専用ビスSDF22 8本で留めてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図①
鉛直補強材・プレースSLGB-45の取付け	② 斜め固定O用補強板が斜め固定Oの内側にセットされているか。斜め固定Oがデッキプレート又はコンクリートスラブに隙間なく取付けてあるか。斜め固定Oと斜め固定NがM16ボルト・ナット・SWでゆるみなく固定されているか。斜め固定NとプレースSLGB-45が専用ビスSDF22 6本で留められているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図②
吊ボルトの取付け・X方向角形鋼SLGB-100を1~2本取付け（レベル出し）	③ 1/2'吊ボルトがゆるみなくインサートに取り付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			
X方向補強材の取付け・X方向補強材ジョイント部の取付け	④ 1/2'長ナットで1/2'吊ボルトを接続する場合、吊ボルト同士がゆるみなく取付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図③
Y方向補強材の取付け・Y方向補強材ジョイント部の取付け・X方向補強材とY方向補強材の留め付け	⑤ t6座金を締め付けるナットは1/2'Wナットで留め付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図④⑤
X及びY方向プレースをX及びY方向補強材に取付け	⑥ プレースと斜め固定K100がビス留めされているか。斜め固定K100がX方向又はY方向補強材にビス留めされているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑥⑦
X方向水平材の取付け・レベル調整 X方向水平材ジョイント部の取付け	⑦ 斜め固定K100の先端とt6座金のクリアランスが10mm以内になっているか。	目視・実測	工区毎	10mm以内	修正			図④⑤
Y方向水平材の取付け・Y方向水平材ジョイント部の取付け	⑧ 角形鋼をつなぐジョイント金具は両面からかぶせているか。M12ボルト・ナットが確実に締め付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑧-1 図⑧-2
野縁H-25FLの取付け	⑨ 直交固定金具が隙間なく取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑨
開口補強の施工	⑩ 100BOXハンガーに補強板が図⑩のように取付けてあるか。100BOXハンガーと角形鋼がビスで固定されているか。 レベルは所定の高さになっているか。	目視・実測	工区毎	特になし 10mm以内	修正			図⑩
天井ボード貼り	⑪ Y方向水平材と野縁H-25FLの固定専用ビスMJ16 2本で留められているか。野縁H-25FLジョイント部専用ビスMJ16 4本で側面から留められているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑪
	⑫ 開口部はTジョイント1ヶ所につき専用ビスL-19 4本で留めてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑫
	⑬ 開口部はタンゴ1ヶ所につきドリルねじSDF22 8本（見えるところは6本）で留めてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑬
	⑭ 全ての金具が所定のビスの本数でしっかり留め付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			
	⑮ レベルは所定の高さになっているか。	実測	工区毎	10mm以内	修正			
	⑯ X・Y方向角形鋼と壁との隙間は50mm程度になっているか。	目視・実測	工区毎	50mm程度	修正			